

ウルトラ7

2006年6月 日発行

そろそろ **ターニングポイント** です

加賀地区大会が終わりました。今、どんな心境でしょうか。私は、バドミントンの会場で2日間、全試合を見せてもらいましたが、どの選手も、どの応援の人も皆、本当に精一杯頑張っていました。普段の生活では見ることのできないような真剣な表情であったり、掛け声であったり、ガッツポーズであったり・・・ああ、この子はこんな一面を持っているんだなあ、嬉しくなりました。勝った時の笑顔はもちろんですが、もう一歩で力及ばず負けてしまった時の悔し涙も、本当に素敵でした。

「流した涙をこれから活かしてがんばりたい」とはまなすに書いていた人もいましたが、その通りだと思います。勝敗はくっきりとついて、明暗は分かれましたが、そこに至るまでの自分の努力や汗・仲間との思い出は、結果とは別のものです。この2年と数ヶ月で学んだ多くのこと（嬉しいことも、悔しいことも悩んだことも全て）を自分自身の栄養として、大切にしていってほしいと心から思います。

また、県体出場が決定した皆さん、最後のコンクールや大会を控えている皆さんは、あとしばらく部活動（習い事）と勉強の両立をしながら、精一杯頑張り抜きましょう。

さて、気がつけば、期末テストが目の前に迫っています。もう既にテスト範囲が発表となりました。前回の反省を基にして、しっかりと計画を立てることができたでしょうか。今回は、3年生になってからの範囲のみです。前の中間テストに比べてぐんと勉強しやすいテストのはずですよ。さあ、**真剣勝負**です！！

☆ **最近の3の7を見ていて思うこと** ☆

その1：「勉強を頑張っている人が増えてきたなあ」

例えば、毎日の講座シート。花丸のつく人が増えてきています。1枚1枚をきちんと積み上げてやっていくことが、実力をつけるための大切な一歩。ぜひ、続けてください。ただし、本当に自分の力で問題を解いているのでしょうか。もしかしたら、誰かのシートを写させてもらっている人や、朝読書の時にこそっとやっている人、いませんか？「**何のための、誰のためのシートか**」をもう一度よく考えてほしいものです。

それから、授業中の様子。ある教科の先生からこんな言葉をいただきました。「4月の頃は、このクラスはどうなるのかなあと思うくらい、私語がありましたが、最近ぐんと良くなりました。これからが楽しみです。」嬉しい言葉です。**学力アップのために何が一番大事かと問われれば、間違いなく「日々の授業」**です。全教科の先生からこんな言葉をいただけるよう、ぜひ真剣に授業に臨んでほしいものです。

